

いよいよ、年の瀬。一年を振り返り、お世話になった方々への感謝の心、ご先祖への感謝の心を持って、新しい年を迎えたいものです。お正月に神(年神)お正月様をお迎えする齋場である家を浄めるため、昔から年中行事として、一年の塵を払い、大掃除をしました。家族みんなで協力し合い、楽しく行き届いたお掃除をしましょう。



【大晦日】十二月三十一日(大祓)と(大掃除)

十二月三十一日は大祓(みそぎはらい)が行われます。大祓というのは、紙で作った人形に名前を書いて息をふきかけたり体を撫でたりしたものを神様の前にお供えしてお祓いをする儀式で、今から千七百年程前の仲哀天皇が崩御なさった時、国として大祓を行ったのが最初で、それ以後ずっと宮中や民間の間で年中行事となりました。

日本においては、人間の本性は、完全に円満な美しい魂をもった日子・日女(天照大御神の子)であるから、上についたほこりならば、はらったらとれて、本来の姿に帰る、と考えられていました。日本人は祓(はら)うべきものは、諸々の罪と穢(けが)れという二点にしばっています。罪とは、「本来神の子の本当の姿をつつみ隠していること」。穢れとは、「気枯れ」とも書かれるように気が枯れること。包みをほどこき、気枯れをはらうとは、生き生きと明るく朗らかに、陽気いっぱい生きることです。

和歌コーナー

たいそうのまえ どんぐりいっぱいみつけたよ
ちいさいのもある おおきいのもある

年小 N・Y

☆どんぐりをいっぱいみつけた時のようすがわかりましたよ。

まつぼっくりの ばらみたいたのが すごいな
おはなもきれいに さいていたよ

年中 K・H

☆ふしぎな私たちのまつぼっくりでしたね。

よみきかせ しましまねこが できたよ

とらとびゆうまのあいのこだよ

年長 Y・K

☆絵本のお話をよく聞いていましたね。

大きいな どんぐりみつけて ひろったよ

げんかんのそと ならべておいた

一年 K・Y

☆ひろったどんぐりを、げんかんのそとにならべている姿にほほえみが浮かんできます。

きくの花 色とりどりに さいている

なんでこんなに きれいなのかな

小学三年 M・S

☆色々な種類の菊がきれいにさいていて、ふしぎですね。



秋のきせつ 空は青空 きもちいい
太陽きらきら はっぱもあかい

小学三年 T・Y

☆秋の空は、青く澄んでいて気持ちいいですね。

今月の言葉

昭和天皇 御製(昭和二十一年歌会始)

ふりつもる

み雪にたへて

いろかへぬ

松ぞををしき

人もかくあれ

(大意)

雪の冷たさと重たさに耐えて松の色は変わらず、青々と雄々しく美しさを失わない。どんな困難にあっても、この松のように、自分の持っている正しき、清らかさ、美しさを失わない日本人であってほしい。



次のなでしこ寺子屋は

一月二十二日(土) 六階六〇一室です。

お楽しみに♪



年長 Y・K

自信を持って、紙いっぱいに大きな気持ちでのびのびと書いて、素晴らしいです。



年中 K・H

墨をたっぷりつけて、力強く書きました。名前もしっかり書きましたね。



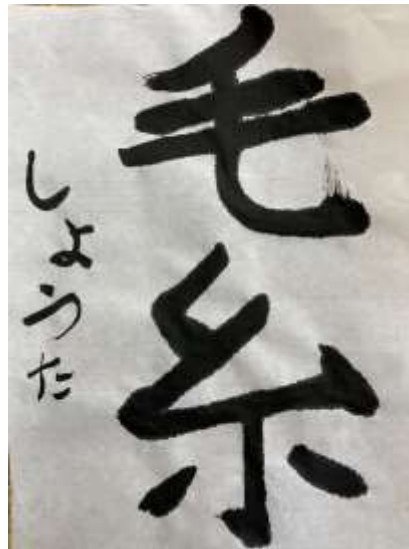
年少 N・Y

思い切って、紙いっぱいに、のびのびと書きましたね。線が生き生きしています。



3年 T・S

「毛」の字を堂々と丁寧に書いて、線質が豊かであたたかいです。名前も筆がよく立っています。



3年 M・S

始筆から終筆まで集中して書き、筆先まで心が行き届いています。名前の位置も良いです。



1年 慶・Y

筆を立てて、大きな気分で堂々と書いています。「ゆ」の曲がりがかっこよく書きましたね。

日常生活の生かし方



○あなたは何のために勉強しますか
○勉強すること、仕事をするからは、自分の生命が伸びることだから、楽しくてするのです。

○誰でも自分の持っている力が限りなくあることを信じて、何をするにも全力を出す人は何事にでも必ず成功します。

○この世の中には大臣も代議士も博士も必要です。しかしそれよりも前に強く正しく明るい人に成ることが必要です。強く正しく明るい人とは、他の誰に対しても自分に対すると同じように深切を尽くして悲しみや苦しみに負けずに、いつも元気で力いっぱい自分の仕事に精を出す人です。

…続く…

(「人生読本」谷口雅春著より)